

■「ICT地域活性化大賞2020」奨励賞 受賞事例

ICTを活用した働き方改革への取組み ～低コストGISを活用した業務効率の向上～ 【群馬県利根郡川場村、群馬県前橋市、RFJ株式会社】 〈群馬県利根郡川場村、群馬県前橋市〉

1. 目的と概略

群馬県川場村においては、比較的少人数の行政職員（一般職59名）により通常業務を行っています。その中で、近年頻発する自然災害や鳥獣被害への対処、老朽化していくインフラの更新管理など新たに発生する行政上の問題を、限られた行政人員において対処していかなければならないという課題があります。

更に今後、「超高齢化社会」「労働力の不足」などの問題の累積により、これまで以上に職員一人ひとりの業務負担が増えていくことが予想されます。

そのような状況のもと、川場村の働き方改革として、地理情報システム（GIS）を活用した業務効率の向上を実現させるためRFJ株式会社が提供している低コストGIS「White Map」を導入していくこととなりました。

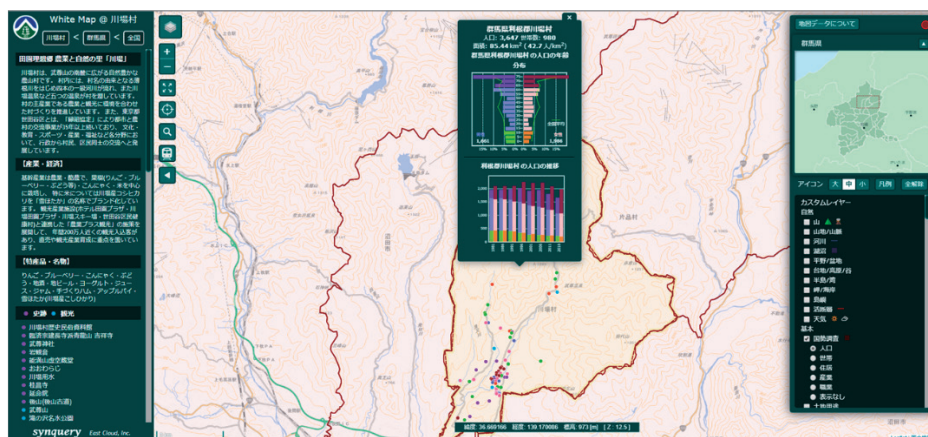
また、群馬県前橋市においては、都市魅力アップ及び官民連携の一環として、当GISシステム利用希望部署において部署毎に活用方法の検討を行い、様々な課題解決に向けた活用及び業務効率化への効果をみるための実証事業を現在行っています。

2. 先進的な優良事例紹介

2.1 事業概要

様々なサイトに点在しているオープンデータや、川場村が持っている消火栓位置や災害時の被害箇所などの行政データを可視化できるGISを用いて、業務効率の向上による働き方改革につなげていくとともに、住民からの要望である鳥獣出没情報など、当システムを用いて公開していくことにより住民満足度の向上につなげていけるよう、システムの活用を進めています。

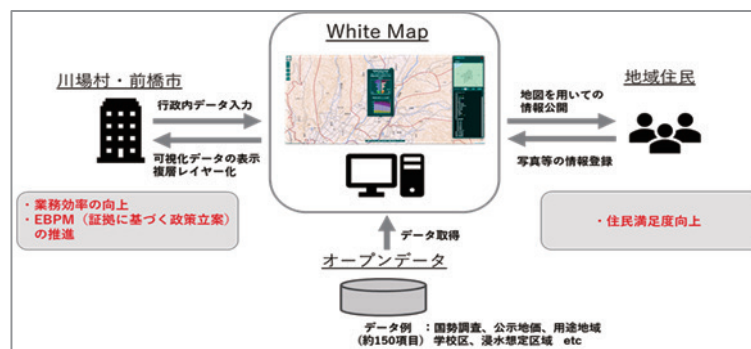
【システム画面】



2. 2 コラム

① サービスイメージやシステム構成

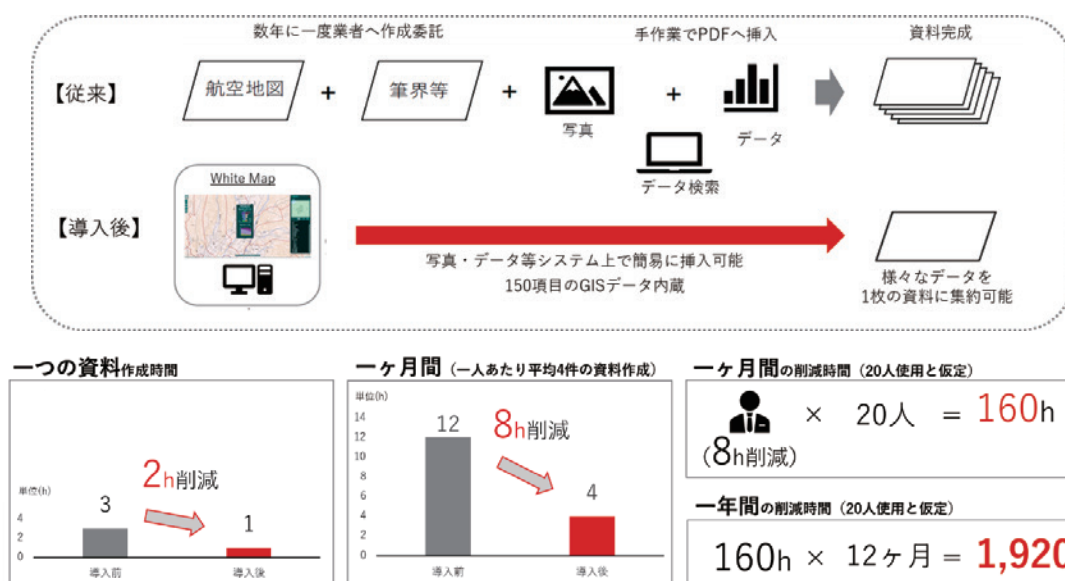
15種類150項目のオープンデータを搭載し表示、また、行政が持つエクセルデータも簡易に取込み、可視化することが可能です。また、レイヤーの作成・複層重ねも簡易にでき、資料作成などの業務効率の向上を期待しています。



② 事業展開による効果

従来、必要なデータを検索し、その後、航空地図や住宅地図などベースの地図に手作業で画像・データを挿入して資料作成を行っていましたが、当システムの導入によりシステム中の操作で地図上に画像や国勢調査情報、ハザード情報などのオープンデータを簡易に挿入することができます。これによって、資料のワンペーパー化が実現でき、枚数・作成時間ともに約70%削減することが可能となりました。

一人あたり4件／月の資料作成をすると、8時間／月の削減になります。システムは複数部署で共有・利用可能ですので仮に20人が使用すると160時間／月、1,920時間／年の削減・時間創出ができます、新たな行政課題への対応や働き方改革が実現できるのではと期待しています。



③ 事業展開のポイント

○ 独創性・先進性

低コストで運用可能な点、自治体が持っているエクセルデータを簡易に地図上に可視化でき、150項目ものオープンデータと組み合わせることができる点が大きな強みと言えます。

○ 継続性

今後想定されるオープンデータ利活用の推進に伴い、有用なデータの更なる活用が期待され、より高い業務効率の向上が見込まれます。また、一般的なGISと比べ導入・運営コストが安価なためコストメリットが高く、小規模自治体でも大きな負担にならず継続利用が可能と考えます。

○ 横展開

低コストでのGIS利用が可能となり、特定の自治体の利用に留まらず、財政に余裕のない小規模自治体を含む多くの自治体に横展開が可能で、行政の業務効率の向上に貢献することが期待されます。

○ 効果的なICT利活用

災害時に被害箇所を撮影し、その場で状況写真と位置情報のアップロードが可能です。

従来、電話による位置情報の伝達、被害状況写真との統合作業が不可欠でありましたが、上記機能によりタイムリーに災害対策本部へ位置情報と被害状況写真が共有でき、即応性のある対応をとることが可能となりました。

【活用例1. 台風被害状況の情報集約】

【導入後】

現地で撮影
その場でアップロード



【従来】

現地で撮影
電話でおおよその
位置情報連絡
庁舎に戻り写真と
地図の手作業に
よる統合作業

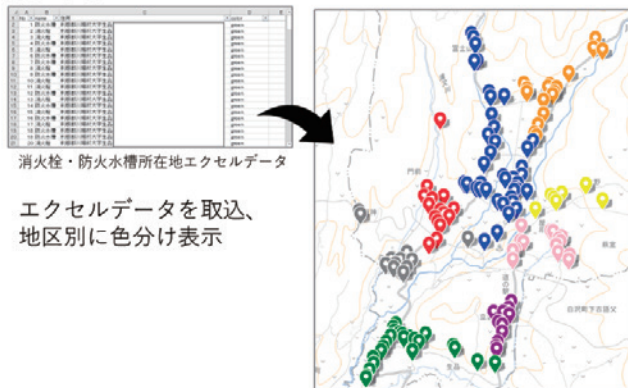


○ 住民等との連携・協力

川場村役場が主体となり、村内の様々なデータ（位置情報、統計情報）を集約し、公開していくことを検討しています。データ集約には消防団など地域住民との相互協力により実施し、また、地域住民からの情報（鳥獣出没位置情報など）を発信し、タイムリーな情報通知を行うことができるよう検討していきます。

【活用例2. 消火栓・防火水槽の情報共有・管理】

【導入後】



【従来】

財産台帳等の設置一覧等
をもとに手書きで記入



○ 波及効果

国を挙げて推進しているオープンデータの利活用について、全国の自治体が活用できる低コストのGISとして、その推進に向けて大きな貢献ができると期待しています。

2. 3 サービス利用者の声

システムにより作成したマップデータはGEOファイルとして出力が可能で、複数のユーザーでシステムを運用していても、当該ファイルによりデータを共有することが可能です。

この仕組みの応用により、住民全体を1ユーザーとして運用し、住民に公開する情報、庁内限りで共有する情報、部署内でのみ管理する情報と公開する情報の領域を設定することが出来ます。

資料作成時間の圧縮もさることながら、情報の管理という面においても、利用する側のアイデアによりあらゆる分野において有効活用が見込まれるシステムと実感しております。

2. 4 今後の課題と展開

現在は主に総務課で使用していますが、システムは役場内で共用使用ができるため、全庁的に活用し、さらに大きな業務効率の向上につなげていきたいと考えています。

また、鳥獣出没情報などの情報公開のプラットフォームとしての活用も進めて参ります。

【活用例3. 鳥獣出没情報の公開】

○ 鳥獣出没情報についての従来と今後の対応

	地図情報	防災無線	
		イノシシ	クマ
従来	無	無	有
今後	有	無	有

White Mapを用い公開することを検討中

鳥獣被害・出没情報公開イメージ



2. 5 導入費・維持経費

システム利用料：1,320,000円（税込）／年間

〔問い合わせ先〕

- ・団体 川場村役場 総務課

〒378-0101 群馬県利根郡川場村大字谷地2390-2

- ・電話番号／0278-52-2111

- ・システム提供会社 RFJ株式会社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート19階

- ・電話番号／03-3527-2820

- ・e-mail：info@rfjapan.co.jp